

瀬戸学区まちづくり推進委員会

委員長 水野 敏彦

（問合せ先） 084-951-1003（瀬戸交流館）

事業内容

- (1) 瀬戸小学校児童育成事業 （8月23日）
- (2) 生涯学習活動事業
 - ①体験・人材育成 （12月28日）
 - ②料理教室 （8月30日・12月13日・2月28日）
- (3) 人権啓発活動事業 平和学習 （3月13日）
- (4) 安心安全活動事業
 - ①自主防災 （6月29日）
 - ②避難行動要支援者の避難支援（通年）
- (5) 地域文化継承事業
 - ①史跡めぐり （1月21日）
 - ②とんど （1月10日）
- (6) 地域活性化事業
 - ①町民納涼夏まつり盆踊り大会 （8月2日）
 - ②町民大運動会 （10月19日）
 - ③第17回ふれあいフェスティバル瀬戸 （11月30日）
- (7) 環境美化活動事業
 - ①町内清掃活動 （6月15日・12月7日）
 - ②花壇づくり （通年）
 - ③町内啓発 （通年）
- (8) コミュニティ育成事業 （通年）
- (9) 健康づくり事業
 - ①第25回ふれあいグラウンドゴルフ大会 （11月8日）
 - ②健康ウォーキング大会 （1月21日）
 - ③団体交流大会 （3月7日）
- (10) 情報紙発行事業 （通年）
- (11) 人・まち・ふくしまルシェ2025 （中止）
- (12) まちづくり推進委員会運営 （通年）



【町内美化清掃中】



【第25回ふれあいグラウンドゴルフ大会】

成果

- ・昨年度に引き続き人権啓発活動事業を企画し、ホロコースト記念館を訪問し、平和についての学習を深めることができた。
- ・いずれの事業も計画通り実施することができ、実施に向けては事務局会議を持ち、関係団体としっかりと打ち合わせを行い、スムーズな進行ができた。
- ・推進委員を中心に各種団体役員、地域住民との交流も図ることができ、地域の課題解決や活性化を図るための意識を高めることができた。また、少しずつではあるがまちづくり事業に対する理解が深まっているように感じる。

課題

- ・各種団体役員や地域住民に対して、引き続きまちづくり推進事業についての周知に努める必要がある。
- ・参加者についても固定化せず、幅広い年齢層の地域住民に参加してもらえよう、今まで以上に広報活動に努める必要がある。

課題解決にむけて

- ・推進委員を中心に、各種団体役員をはじめ地域住民に対して、まちづくり推進事業の周知のため、会議での丁寧な説明や広報活動に努める。
- ・事業については、しっかりと内容を検討しながら、2026年度へつなげていく。

《ふれあいで広げよう 支えあう明るい瀬戸のまちづくり》

『第17回ふれあいフェスティバル瀬戸』開催

この『ふれあいフェスティバル瀬戸』は、隔年で開催される学区内で一番といってよい程の大きな行事の一つであり、回を重ねて2025年度は17回目となります。

11月30日（日）開催当日は、快晴に恵まれ、2,000人近い参加者で老若男女を問わず大歓声と地域の大きなふれあいの輪ができました。



【ステージ：書道パフォーマンス】

ステージは、済美中学校吹奏楽部の演奏で開幕。日本舞踊、フラダンス、お箏などのサークル発表のほか、神楽の上演や福まき、ウクライナのダンス、今回初めての明王台高等学校書道部のパフォーマンスは、観客を釘付けにするほどの迫力がありました。また、瀬戸小学校児童によるクイズも大きく盛り上がり、観客と



【テントマルシェ】

ステージが一体となりました。グラウンドには、13台のキッチンカーがずらりと並び、カレー・クレープ・フライドチキン・リンゴあめ・わらび餅・おにぎりなど、来場者のお腹はしっかり満足したことと思います。テントマルシェも、地域の方々が店主となり、こどもからおとなまで笑顔が続いていました。また、「創作とゲームコーナー」は、学区内の1保育所と3こども園の保護者会、小学校PTAが担当し、お面作りや魚つり、ゲームなどでテントはいつも一杯の状態でした。「交通安全コーナー」では、交通安全体験車「セイフティプラザヒコア」がやって来て、安全に対する体験ができ、「防災コーナー」も展示や煙体験によって、防災意識の再確認ができました。



【展示】

体育館においては、小学校1年生から6年生までテーマごとの作品が壁面いっぱい飾られ、こども園や保育所、地域の方々の見事な作品が来場者を魅了しました。その一角の「健康づくりコーナー」は、人生100年時代を生きる私たちにとって、関心の深いものでした。このフェスティバルを通して、町民同士が共に笑い、ふれあい、共感あふ、心豊かなつながりができたと感じます。また、自治会や各種団体、役員が、それぞれの役割をしっかりと果たし、主体となって底力を発揮し、今まで以上につながりを深めることができましたと思います。次回が楽しみになります。

6月下旬の準備委員会から開催当日まで、前回の課題を改善すべく、《ふれあいで広げよう 支えあう明るい瀬戸のまちづくり》というスローガンのもと、何か一つでも特色を出そうと、部門ごとの実行委員が一丸となり取り組みました。また、各自治会や各種団体、小中学校、地域のサークルや有志など、本当に多くの方々に支えられたフェスティバルでもありました。



【ステージ：猪之子神楽】



【キッチンカー】